

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	特別研究 2
科目基礎情報						
科目番号	610037			科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 6	
開設学科	生産工学専攻（機械工学コース）			対象学年	専2	
開設期	通年			週時間数	6	
教科書/教材	なし					
担当教員	吉川 貴士,松田 雄二,平田 傑之,谷脇 充浩,越智 真治,今西 望 ,糸野 紘範,田中 大介					
到達目標						
1. 研究目的を、社会的背景や既往の研究と関連づけて理解できること。 2. 情報を収集・分析・編集し、問題の本質が理解できること。 3. 第三者を納得させる解の導出ができること。 4. 報告書の中で、論理的な日本語の表現・記述ができること。 5. プレゼンテーションによる口頭発表ができること。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	研究目的を、社会的背景や既往の研究と関連づけて十分に理解できる。		研究目的を、社会的背景や既往の研究と関連づけて理解できる。		研究目的を、社会的背景や既往の研究と関連づけて理解できない。	
評価項目2	情報を収集・分析・編集し、問題の本質が十分に理解できる。		情報を収集・分析・編集し、問題の本質が理解できる。		情報を収集・分析・編集し、問題の本質が理解できない。	
評価項目3	第三者を納得させる解の導出が十分にできる。		第三者を納得させる解の導出ができる。		第三者を納得させる解の導出ができない。	
評価項目4	報告書の中で、論理的な日本語の表現・記述が十分にできる。		報告書の中で、論理的な日本語の表現・記述ができること。		報告書の中で、論理的な日本語の表現・記述ができない。	
評価項目5	プレゼンテーションによる口頭発表が十分にできる。		プレゼンテーションによる口頭発表ができる。		プレゼンテーションによる口頭発表ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	研究の遂行を通して、生産工学に関する高度な専門知識と実験技術、自主的・計画的に研究を推進できる能力の育成を目的とする。また、研究報告書作成や研究発表を通して、文章表現能力とプレゼンテーション能力を修得させる。					
授業の進め方・方法	学生各自が研究テーマを持ち、各指導教員の下に研究を行う。 テーマの分野は、機械工学、材料工学の応用分野である。 年度当初に研究計画書を、学年末に特別研究報告書を提出し、特別研究発表会で報告する。 また学会等において、在学中に1回以上発表を行うことを目標とする。					
注意点	特別研究1から継続して行う科目である。各自が1つのテーマに取り組むことになるので、しっかりとした計画の下に自主的に研究を遂行してもらいたい。また、特別研究報告書作成や特別研究発表会、学会発表等を通して文章表現能力およびプレゼンテーション能力の向上も心がけてほしい。					
本科目の区分						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				

	4thQ	8週		
		9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	計画立案・遂行能力		特別研究発表会	特別研究報告書	合計
総合評価割合	30		30	40	100
基礎的能力	0		0	0	0
専門的能力	0		0	0	0
分野横断的能力	30		30	40	100